



『救急救命士に対して研修の「場」を創る ～指導救命士の役割～』

	都道府県名	秋田県
	所 属	秋田市消防本部 救急課
	氏 名	佐藤 良和
	職名・階級	主席主査・消防司令
	指導救命士養成研修 受講時期	平成26年度 指導救命士養成研修 第1期 修了

【指導救命士養成課程を修了してからの取組】

本市では、質の高い救急サービスの提供を目的として、平成26年5月から6月にかけて救急救命九州研修所で行われた第1期指導救命士養成研修（以下、養成研修）を修了した職員を本部に「秋田市指導救命士」として配置、救急救命士による署を越えた組織横断的活動が可能な「教育体制構築ワーキンググループ」（以下、教育WG）を主導し、救急に携わる職員教育の充実・強化を図っている。

平成26年8月に策定した「救急業務に携わる職員の教育研修実施要領」で、救急救命士に対する研修は、救急隊員や初任救急救命士を指導することでリーダーシップを発揮し、最前線で活動する救急救命士として知識、技術の維持向上を図ることとした。

そのためには、救急救命士が指導する研修の「場」を創設する必要があった。

【創設した救急救命士が指導する研修の「場」】

(1) 救急ワークステーション

養成研修が縁で福岡市消防局を参考にし、「救急ワークステーション運用要領」を策定した。救急救命士1名を含む、各署から人選された救急隊員3名で編成し、医師同乗指導出動以外の研修は、救急救命士が救急隊員や初任救急救命士を指導することを基本としている。また、平成28年4月から指導救命士を派遣し、医師同乗指導出動以外時に養成研修で学んだ「POT」等を活用して研修プログラムをコーディネートしている。



(2) 地域協議会内（4消防本部合同）救命技術大会

平成27年度から養成研修を修了した地域内2つの消防本部の指導救命士（2名）と各消防本部の指導的立場の救命士により、地域の救急救命士および救急隊員を対象として、救急現場での傷病者への的確な観察力、それに基づく状況判断力および迅速な救命処置等の技能向上を図るとともに、救急隊員としての資質の涵養を目的としたシミュレーション訓練を企画し実施した。救急業務の質の標準化を図ることができる他、新規に養成研修を修了した指導救命士から新たな指導技法が伝達されるなど、消防本部を越えた情報交換の場となっている。



(3) 救急業務における基本手技等の集合教育・症例検討会（本部主催）

養成研修で学んだ「各隊員の経験値」を調査分析、可視化し、指導目標の明確化及び学習意欲の促進に役立っている。（6回程度開催／年）

【最後に】

「まずはやってみよう！」の信念で、養成研修で習得した指導技法等を活用し、指導することの経験を増やす「場」を創設してきた。このことは、救急救命士教育として有用であり、指導救命士の役割として重要であることを認識し、今後も継続性を持った指導体制の更なる構築に努めていきたい。